

『日立製作所における人財育成事例』

～グローバルワイドで活躍する人財の育成施策～

人材活性化委員会では、本年度より新テーマ「多様な人材の活用と活性化を推進する人材育成」に取り組むこととなった。10月25(木)日立製作所横浜支社・総務部長高橋健治様より、同社の取り組み事例の発表を教育研究会と合同開催で実施した。

日立製作所は創業時の精神「企業は人なり」を基本理念とし人財育成を行ってきた。また、技術革新の進展、事業のグローバル化を推進する中で、多様な人財で構成される従業員が個々の能力を発揮できる環境を作ることが、企業が成長するための重要な課題ととらえて各種施策を実施している。

更なるグローバル化への対応

日立の創業者の想い、企業風土、モノづくりは人づくりを目指す人財育成の概要など詳細な資料により説明があった。グローバル人財育成では、H24年度海外売上高比率 50%超を目標に新興国でも活躍したい意思・覚悟のある社員の採用、グローバ要



員を選定し育成、語学力の強化、若手海外派遣、処遇制度の構築など様々な施策を実施している。

また、創業100周年を契機に日立精神を再確認、グループ・グローバルで共有することで「強い日立」の実現をめざし、世界初の日立グループ用世界共通管理者研修も開発し活用している。

DVD「日立の原点」「Spirit of Hitachi (従業員のモチベーション維持)」の視聴により日立の歴史・精神など理解を深めた。このDVDは各国語に翻訳されており、グローバル人財育成にも活用されている。